

校章の由来

校章の図柄は、はなさき分校開校時の各学部カラーである緑（小学部）、赤（中学部）、青（高等部）を背景にした。

小学部の緑は、「緑ひろがる大地に根ざし、毎日笑顔で健やかに育つ」という意味を持つ。

中学部の赤は、「太陽の光を受けて、太く大きな幹（自分）から枝葉（友）を広げ結実する」という意味を持つ。

高等部の青は、「学校で学んだことをもとに、自立し社会という大空へ向かってはばたく」という意味をもつ。

「はなさき」の象徴としての花は、太陽のオレンジ色で、子ども達の可能性が花開く様子をイメージし、3つの花びらが、校訓の「笑顔」「友愛」「未来（ゆめ）」を表している。また、花の中央には、「はなさき」の頭文字のHを表している。

